



2026年2月3日

合同会社International Linkage  
ドイツメッセ日本代表

世界の製造業をリードする産業見本市 「HANNOVER MESSE 2026」

## パートナーカントリーは、ブラジル 「エルメスアワード」へのエントリーも募集中

### 1. パートナーカントリーは、ブラジル

ハノーバーメッセ2026のパートナーカントリーは、ブラジルです。

2億1,600万人の人口と豊富な天然資源、成長産業を擁するブラジルは、中南米最大の経済国であり、世界有数の経済大国のひとつです。ブラジルのレイス・イナシオ・ルーラ・ダ・シルヴァ大統領（Brazilian president Luiz Inácio Lula da Silva）は、ドイツのフリードリヒ・メルツ首相（German Chancellor Friedrich Merz）とともに、4月19日のハノーバーメッセの開会式を執り行います。

メルコスールと欧州連合（EU）との貿易協定により、ブラジル企業が両地域でビジネスを展開しやすくなることが期待されているため、2026年4月20日から24日まで開催されるハノーバーメッセにブラジルが参加することは、非常に重要です。

ブラジルは、「The Industry of Today（今日の産業）」をテーマに、ハノーバーメッセの来場者や出展者に対し、多くのビジネスや協力の機会を提供します。

ブラジル貿易投資促進庁（ApexBrasil）のジョルジェ・ヴィアナ長官（Jorge Viana, president of the Brazilian Trade and Investment Promotion Agency (ApexBrasil)）は、「このパートナーシップは、ブラジル産業界が革新的で持続可能な潜在的競争力を世界に示す歴史的な機会です」と述べています。

また、ハノーバーメッセ国際関係のディレクターのマルコ・ジーベルトは、「ハノーバーメッセ2026は、ブラジルのイノベーションとドイツの技術力を結びつけ、新たなビジネス関係を育むとともに、新たな市場への扉を開くものです」「出展者や来場者は、投資機会を探り、パートナーシップを構築し、気候中立なモノづくりにおけるブラジルの役割について意見交換する絶好の機会を得ることができます」と説明しています。

ハノーバーメッセへの出展は、デジタル化、イノベーション、国際開発、天然資源、持続可能性

といった分野におけるブラジルの強みを打ち出すものです。メインとなるホール12のブラジルパビリオンでは、イノベーションと投資機会に焦点を当て、ホール11、16、17、26に設置されたその他のパビリオンでは、自動化とロボット工学、デジタル産業、エネルギー技術、機械設備、スタートアップ、持続可能性などに特化した展示が行われます。

ブラジルからの参加企業は、展示に加え、商談セッション、限定交流イベント、国際的なプロモーション活動、そして新たな市場でのプレゼンスを拡大するための制度的サポートなどを活用できます。

ブラジルとドイツの戦略的パートナーシップは、2008年から続いています。ブラジルは中南米におけるドイツの最も重要な貿易相手国であり、ドイツはEUにおけるブラジルの最も重要な貿易相手国です。現在ブラジルには、BASF、バイエル、ボッシュ、SAP、シーメンス、フォルクスワーゲン、ZFフリードリヒスハーフェンなどの大企業をはじめ、1,500社以上のドイツ企業が進出しています。

「オービスクロスボーダー投資データベース」によると、ドイツは、2025年1月から9月の間に、ブラジルで41件の新規投資プロジェクトを発表しました。これらのプロジェクトの総額は、35億米ドルに上ります。このうち90%超が製造業と電力部門への投資です。例えば、フォルクスワーゲンはサン・ベルナルド・ド・カンポの工場拡張に12億6,000万米ドルを投じ、シーメンス・エナジーはBPおよびSPICと提携してサン・ジョアン・ダ・バーラに天然ガス火力発電所を開設するために15億米ドルを投資しました。

ブラジル貿易投資促進庁（ApexBrasil）が、ブラジルの零細・小企業を支援する経済開発機関SEBRAEとの協力の下、パートナー国としてのブラジルの出展を企画・運営します。後援団体は、サンパウロのドイツ・ブラジル商工会議所、ブラジル各州の貿易団体、ベルリンのブラジル大使館などです。ブラジルの参加は、ブラジル連邦政府の「新ブラジル産業プログラム」（NIB）に沿ったものであり、産業の近代化、炭素排出量の削減、およびブラジルの国際競争力向上を目指しています。

## **2. 「エルメスアワード」へのエントリー募集**

ドイツメッセは、ハノーバーメッセ2026で授賞される、国際的に著名な「エルメスアワード」へのエントリーを募集しています。エルメスアワードは、産業分野のイノベーションを称える最も権威ある賞のひとつです。授賞式は、2026年4月19日にハノーバーメッセの開幕式の中で行われます。本イベントに参加するすべての企業および機関に応募資格があり、応募期限は2026年2月15日です。エルメスアワードのほかに、若く革新的な企業を特に称える「エルメス・スタートアップアワード」も再び授与されます。

ラウンホーファー研究機構理事長のホルガー・ハンゼルカ教授（Dr.-Ing. Holger Hanselka,

President of the Fraunhofer-Gesellschaft) が審査委員長を務める独立審査委員会が、応募作品の中から「エルメスアワード」と「エルメス・スタートアップアワード」に各3製品をノミネートし、その中からそれぞれの受賞者を決定します。受賞者を決定する上で重要な評価基準としては、技術革新の度合い、産業・環境・社会にとっての便益、費用対効果、実用化に向けた準備体制などが挙げられます。

2025年のエルメスアワードはシーメンスが受賞しました。受賞製品は、AI搭載の「産業用コパイロット」を中心に設計されたソリューションで、反復作業を排除して生産性を向上させることで、労働力の効率化を図るものです。

例えば、SiemensのTIAポータルエンジニアリングフレームワーク用の産業用コパイロットは、世界中で12万人超の専門家に使用されており、あらゆる経験レベルのエンジニアが、正確で信頼性の高いコードを大幅に速く書けるようにしました。シーメンスは、設計、計画からエンジニアリング、運用、保守に至るまで、産業バリューチェーン全体をカバーする産業用コパイロット群を提供しています。このソリューションにより、さまざまな企業が生成AIを活用できるようになります。クラウド版と自社環境で動作するオンプレミス版の両方を利用でき、オンプレミス版は、多様な要件に対応できるよう、生産現場で直接稼働します。

**【本件に関するお問い合わせ先】**

合同会社 International Linkage ドイツメッセ日本代表：竹生  
東京都世田谷区玉川 3-20-2 マノア玉川第 3 ビル 501  
TEL：080-1396-9902、または 03-6403-5817